はじめに　-「イベント安全マニュアル(例)」の共有にあたって-

　イベントを安全に行うためには、リスクの予知・回避・対策についての「スタッフ間共有」が不可欠です。例えば、この「イベント安全マニュアル(例)」に上げたような共有事項が考えられます。

　いま、あなたの地域で、フィールドで、どういった安全対策が必要なのかを、スタッフみんなで考え、追加・修正をしていただき、それぞれのグループ・イベントの「イベント安全マニュアル」を作成しましょう。（すでに同様のもの作成し、活用している場合には、過不足の確認の参考にしてください）

　※赤文字は新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて追加した内容です。

　下記４点を作成、共有し、安全で魅力的なイベントで「よりよい体験」を提供しましょう。

　□下見チェック表

　（『リーダーハンドブック 理論編 ver.7』23ページ／様式424）

　□プログラム実践計画書およびアクティビティ実践計画書

　（（同27ページ／様式426・30ページ／様式427）

　□イベント安全マニュアル

　□シェアリングネイチャーイベントにおけるコロナ対応チェックリスト

※「こういった項目を追加しました」、「こんな工夫をして使っています」など、本マニュアル(例)がどのように活用できたか、また、感想などお寄せください（fujita@naturegame.or.jp）

2018.10.5

2020.7.31更新

公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

安全対策委員会

◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯の会イベント安全マニュアル（例）

イベント日程：20　　　　年　　月　　日

開催場所：

**1）当日の緊急連絡先**

|  |
| --- |
| 担当者連絡先・参加者窓口　（　　　　　）：◯◯◯-◯◯◯◯-◯◯◯◯・ディレクター（　　　　　）：△△△-△△△△-△△△△・責任者　　　（　　　　　）：□□□-□□□□-□□□□ |
| ■プログラム中に万一事故が起きたとき　\*その場で処置できるケガ　　　　→応急処置して、ディレクターに報告する。　\*その後の活動に参加できない、動けない 　　→ディレクターへ連絡、通報（**１１９**）・事件事故があった場合は警察にも連絡（１１０）　　　　　　　　　　　　　　　　■最寄りの医療機関　［救急病院］　　　　　○○病院　〇〇県○○市○○１－１－１　　　　　　　　TEL : １１-１１１１-１１１１(代)　総務課　［小児科がある病院］　○○病院　〇〇県○○市○○１－１－2　　　　　　　　TEL : １１-１１１１-１１１2(代)　総務課　［休日の指定医］　　　○○病院　〇〇県○○市○○１－１－3　　　　　　　　TEL : １１-１１１１-１１１3■ＡＥＤ設置場所（※スタッフ全員で設置場所を確認すること）　 ◯◯◯公園管理センター　 TEL：■公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会連絡先　TEL：03-5363-6010（土日祝日を除く10:00〜17:30）メール：jimukyoku@naturegame.or.jp |

**2）中止判断**

［基準］・警報レベル（大雨・暴風・雷・熱中症厳重警戒など）

　　　 ・注意報レベル、かつ、参加者の年齢・フィールド等の状況から、そのリスクが想定される場合

　　　 ・フィールドが使用できなくなった場合

　　　 ・地震・土砂崩れ・噴火・洪水・事件・火災・流行性の病気・テロその他が発生、または想定される場合

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政等から開催自粛要請が出た場合

［判断日時］前日（◯/◯）18:00　※当日判断の場合は8:00または災害発生時点・要請発出時点

［参加者への連絡方法とタイミング］受付担当（◯◯）が電話およびメールにて連絡。相手の確認が取れるまで連絡する

**3）安全対策(当日最終チェックすること)**

3-1.リスクチェック表（『リーダーハンドブック 理論編 ver.7』P52「セルフエイド」、P53「事故が起こる要因・状況・安全対策一覧」参照）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 要因 | Check | リスク | 参加者に伝えること（セーフティトーク） |
| 自 然 環 境（フィールドＫＹＴ） | 動物 |  |  |  |
| 植物 |  |  |  |
| 気象 |  |  |  |
| 地形 |  |  |  |
| 水辺 |  |  |  |
| 活 動 環 境 | 用具・施設 |  |  |  |
| プログラム |  |  |  |
| 人 的 環 境 | 参加者 |  |  |  |
| 指導者 |  |  |  |

　※シェアリングネイチャーイベントにおけるコロナ対応チェックリストも確認すること

3-2.ヒューマンエラー・バイアス（思い込み）がないか確認する

|  |  |
| --- | --- |
| ヒューマンエラー | ※例えば下記のようなことがないか確認しましょう・情報共有の不足・見落とし・各自の体力・能力への過信・見間違い、聞き間違い、思い違い、勘違い・忘れ物・体調不良・注意散漫 |
| バイアス | ※例えば下記のような思い込みがないか確認しましょう・いつも使っているから大丈夫・ここでハチは見たことないから大丈夫・台風はだいたいそれるから大丈夫・このくらいの雨だったら大丈夫・スタッフがいっぱいいるから大丈夫・◯◯さんがいるから大丈夫 |

**4）イベント開催中に必要な情報・確認事項**

4-1.緊急連絡体制

ディレクター/本行事の運営主任(全体統括) （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

責任者/主催者代表者　（◯◯の会代表：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

チーフリーダー/プログラム進行担当者　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

サブリーダー/アクティビティ指導担当者　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

サポート・見学など （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

4-2.イベント開催中のチェック項目

|  |  |
| --- | --- |
| Check | チェック項目 |
|  | セーフティトーク（セルフエイド・リスク回避について参加者に伝える） |
|  | プログラムの進行に没頭し、参加者の疲れへの配慮など、安全対策がおろそかになっていないか |
|  | どんな場合でも救助者の安全をまず考え、次に二次的事故が起こらないように配慮する |
|  | 事故・ケガについて細かい記録をとる |
|  |  |
|  |  |

**5）当日の緊急時の流れ**

事故やケガが起きた場合には、「4-1.緊急連絡体制」を元にスタッフ間で共有しながら下記にあたる

発見

軽いケガなど

緊急を要する事故など

報告

・保護者や家族

・日本SN協会（事故報告書）

応急手当

（ファーストエイド）

一次救命措置

（ＣＰＲ・ＡＥＤ）

通報

救急隊等への引き継ぎ

**【特記事項】新型コロナウイルス感染が疑われる参加者の発生時の対応について**

**イベント中に体調不良になった方がいた場合の対応**

イベント中に新型コロナウイルスの感染が疑われる「体調不良」になった方がいた場合には、原則的にご家族等に対応を委ねます。ご家族が同伴してない場合は迎えを依頼します。

研修室等の消毒対応

・研修室の換気と除菌を行う

・参加者に手洗いと持ち物の消毒などに協力してもらう

・宿泊室については施設管理者に相談する

感染が疑われる場合の対応（例）

・施設管理者に報告する

・家族の到着まで別室で待機してもらう

・待機中はスタッフが付き添うか、定期的に様子をみる

　※マスク等の着用・2ｍの距離を保つなどの感染対策をする

・研修室等の消毒対応（下記参照）をする

　※軽度の風邪症状であっても「もしかしたらコロナかも」と想定して消毒対応をします

・通院後に本人またはご家族から状況を報告してもらい、参加者、施設管理者、日本協会に情報を共有する

［参考］

　●感染の疑いの目安について

　　厚生労働省ＨP「国民の皆さまへ （新型コロナウイルス感染症）」「相談・受診の目安」を参照

　　▶ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\_00094.html

　●感染を疑われる人がいた場合の対応について

　　厚生労働省HP「新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項（日本環境感染学会とりまとめ）」

　　▶ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage\_00009.html

　●「接触確認アプリ」の情報などから濃厚接触者と判断される場合は下記へ

**イベント中またはイベント後に「感染者・濃厚接触者」が確認された場合の対応**

＜対応（例）＞

1　行政・施設管理者の指示に従い協力する

2　感染者・濃厚接触者が差別されるなどの人権侵害を受けることのないように配慮する（具体的には、関係者にこのスタンスの共有を行ってください）

3　日本協会事務局に情報共有する

※行政・施設管理者から名簿提供を求められた際には応じてください。また提供した情報・時間・相手を記録してください。日本協会にも名簿の共有をお願いします。

※みなさま自身の行動が制限される可能性があります。講師、スタッフの皆様はあらかじめご了解ください。

＜想定される状況（例）＞

・講座中/講座後に

　　・講師

　　・スタッフ

　　・参加者

　　・施設管理者

　　・施設関係者（納入業者など）

　　・同日同会場利用の他団体の方

　に感染者・濃厚接触者が確認される